

マーケットの動き（2022年8月1日～8月5日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初、7月の米国ISM製造業景況感指数の冴えない結果やペロシ米国下院議長の台湾訪問による台湾情勢の緊張感の高まりを受け、国内長期金利は低下しました。その後は、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が相次いで金融引き締めへ積極的な姿勢を見せたことで米国金利が上昇し、国内金利にも上昇圧力がかけられましたが、景気後退懸念の高まりを受け再び低下に転じて週を終えました。

投資環境見通し（2022年8月）

国内長期金利は一進一退の動き

国内長期金利は、将来の日銀による金融政策変更を巡る観測から、変動率が高まる可能性があります。しかし、将来的には物価上昇圧力が和らぐ可能性もあり、日銀の当面の金融政策については変更しないとみられることから、海外長期金利が低下する場面では連れた動きとなる場面もあるとみられます。当面の国内長期金利は、一進一退の動きを予想しています。

	8月5日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.16	▲0.02	▲0.05	▲0.04	0.16
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	379.45	0.24%	0.94%	▲0.95%	▲2.46%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

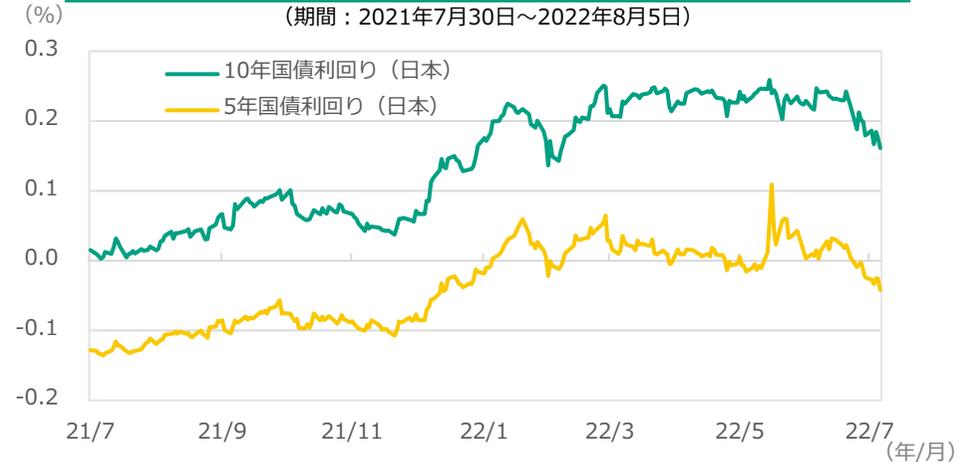
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202208_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2021年7月30日～2022年8月5日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2021年7月30日～2022年8月5日）



※2021年7月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成